



# フレンズ

山梨県立かえで支援学校相談・支援通信 第43号 平成24年3月12日発行

※「フレンズ」は、かえで支援学校の校歌(杉本竜一氏作)です。本校HPにてお聴きください。

## 今年度も多くの園・学校から訪問支援の依頼がありました。

### 訪問支援の依頼手順

- ①園・校内で校内委員会及びケース会議の実施
- ②外部支援の必要性の検討
- ③外部支援についての保護者の承諾
- ④本校へ電話にて日時予約依頼
- ⑤派遣依頼書の作成、本校へ送付
- ⑥派遣依頼書を教育委員会へ送付
- ⑦訪問支援実施
- ⑧市教育委員会へ事後報告

⑥と⑧について：公立幼稚園と小・中学校は、どこの支援学校のセンター的機能を利用しても、各市教育委員会への事前・事後の連絡が必要となっています。今年度まだ報告が済んでいない園・学校のコーディネーターは、口頭で簡単に結構ですので、至急教育委員会へ報告してください。

### コーディネーターの先生方へ！

園・校内の支援のすすめ方、園児・児童・生徒の実態把握、校内委員会の運営、各種外部支援の選択や依頼方法、ケース会議の開き方、福祉関係の情報提供等の相談にも応じています。来年度は、困ったままにしないで、ぜひお電話をください。

訪問支援でうかがった園・学校では、もうすでに様々な支援をしていました。ベテランの先生方は意識をしていないだけで、今まで何気なく行っている支援の中に、**いっぱい特別支援教育のノウハウが詰まっているんだ**と感じました。そのいくつかを御紹介いたします。

#### こんな支援をしています①

忘れてしまいがちの事柄を、短冊に切った色画用紙等を書いて、子どもの机の上の端に貼ってありました。できた時には、シールやスタンプが項目の下に押してありました。すぐに目にするので思い出やすく、自ら行動しやすいですね。

#### こんな支援をしています②

「〇ページを開いて」という指示と同時に「〇ページ」と、「保健室へ行くよ」と言いながら「保健室」と黒板等を書いていました。言葉では情報がキャッチしにくい子どもも、文字（視覚）情報でキャッチできるので、比較的スムーズに集団参加していました。

#### こんな支援をしています③

机上の左上端に2センチ角の立方体の木片があり記号が書いてありました。必要な面を向けることで、「考え中」「質問有り」等の意味を現しているとのことでした。言葉に出さずとも意思が伝えられるグッズですね。同様の支援方法としては、「反対」「付け足し」等発言の際の指サインがありました。

#### こんな支援をしています④

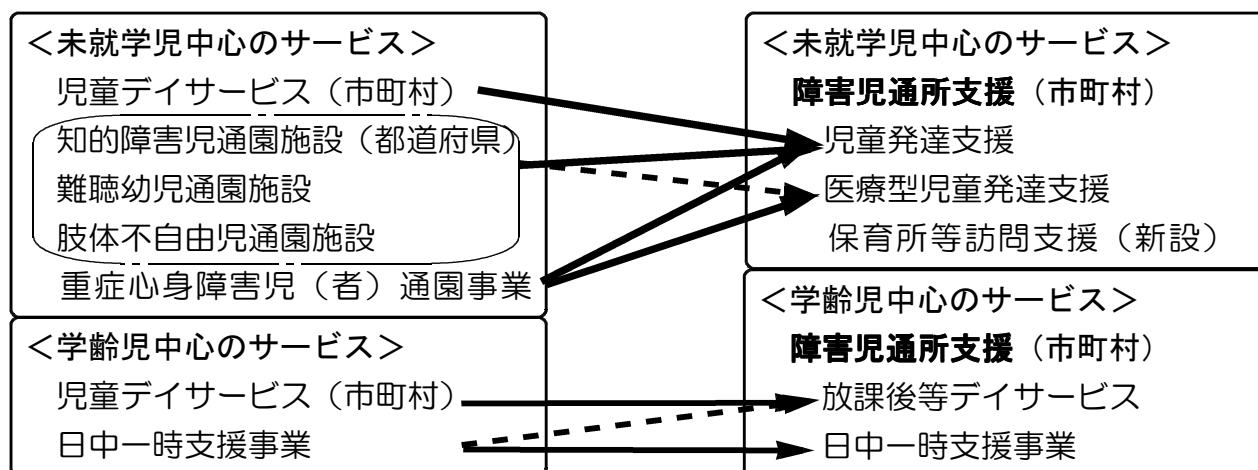
気持ちを落ち着かせたり活動に集中するために、部屋の押し入れを空けたりカーテンを吊ってスペースを作ること、仕切り板を使うこと、机の向きを壁側にすることを実践していました。空き教室が用意できない場合にはとても助かりますね。



# INFORMATION

障害児が利用可能な福祉サービスのうち、児童デイサービス事業が廃止され、新たに障害児通所支援として一元化されます。また、通所型サービスは、支給決定の主体が市町村に一本化されます。詳しくは各市障害福祉課の窓口へ問い合わせてください。

【改正後】



☆障害児の入所サービスは、**障害児入所支援**として「福祉型障害児入所支援」「医療型障害児入所支援」となり、都道府県が支給決定をします。（児童相談所が専門的な判断を行います。）

＜担当：小学部主事**島田**＞

＜担当：中学部主事**松澤** 高等部主事**荻原**

★「フレンズ」のバックナンバーを、ぜひHPでご覧ください。

◆◆◆ この通信に関するお問い合わせは ◆◆◆



かえで支援学校

检索

甲府市東光寺2-25-1(〒400-0807)  
TEL 055(223)6355 FAX 055(223)6356  
URL <http://www.kaedey.kai.ed.jp/>  
E-Mail [sodan@kaedey.kai.ed.jp](mailto:sodan@kaedey.kai.ed.jp)  
(相談・支援部専用アドレス)

